

鶴見あけぼの保育園だより 2023

晩秋となり気がつけば今年のカレンダーが残りわずかです。

10月28日(土)の運動会では4年ぶりに皆が集まり、有意義で楽しい時間を共有できました。その後も秋刀魚(さんま)まつり、芋掘りなど味覚の秋・収穫の秋を堪能し、充実した毎日を送っている子ども達です。炭火で焼いた秋刀魚(さんま)をお友達と食べる姿や年長さんが握ってくれた塩おにぎりを小さい子がほおぼる表情…たき火の香に包まれ、何もいえない幸せな時間・空間でした。

これからも、焼芋会・音楽会など貴重な体験・経験が続きます。目に全ては見えないけれど、きっと子ども達の内面の育ちに豊かに深く強く重なる「根」になることと思います。

あけぼのの保育が、この様に進められるのも、私達の保育に対する考え方を理解・信頼・共感し、共に伴走してくださる方々がいるからこそです。皆様に感謝すると共に、三者懇談会時に提出された、保護者の皆様からのご意見・ご質問等を真摯(しんし)に受け止め、改善すべきことは改善し、継続すべきことは継続して行くように努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。(園長 穴井)

岩澤さんありがとうございました!

長い間、お芋掘りでお世話になった緑区の岩澤さんの畑が事情により今回で最後となりました(予定)。

以前、鶴見区内で芋掘りをしていたのですが、畑の土がやせてしまい良い芋が収穫できなくなったり、畑が宅地化して無くなってしまったりしました。

そこで私の居住地の緑区でつながりがあった岩澤さんに相談したところ快く引き受けてくださったのでした。いつも子ども達に優しく笑顔で楽しそうに接してくださり、のびのびした子ども達を見て「俺、あけぼののさんが来るの、楽しみなんだよな〜!」と迎えてくださり、子ども達も職員も大好きでした。感謝の気持ちでいっぱいです。

11月6日(月)対市交渉に

参加してきました

2024年度保育予算増額に向け、横浜市に対し、保育問題協議会より要望書を提出。直接生の声で、要望を届けようという事で、紺野保育士・斎藤保育士も参加し、穴井と共に横浜市庁へ行って来ました。「現場の実態を知って!」「配置基準改善を!!」

苦勞され育てられたお芋
11/9(金)焼芋会で大切に食べたい

酷暑の夏、畑で
カリカリくんを
100本食べたそうです。

暑すぎて、畑で
倒れられた話
もされています。

※ 今月号つくし組のおたよりは、後日配布となります。